

【資料 2 -2】

事業評価シート(案)

(記載例)

事業名	市民文化祭		
島田市文化芸術推進計画における位置付(施策の柱)	1	担当課	文化振興課
継続年数(回数)	64回	事業費(R3決算額)	3,404,163円
目的	島田市の文化活動の活発化と文化芸水準の向上に寄与するため、市民誰もが参加でき、気軽に観覧できるような文化祭を目指している。		
内容(詳細)	展示部門(俳句・川柳・華道など)及び音楽芸能部門(ダンス・太鼓・合唱など)への出展または出演を島田市に在住・在勤・在学・活動拠点がある団体・教室に所属している人から募集。		
評価内容			
運営組織 (主催・共催・ 関係団体等)	A	<組織概要> 島田市、島田市民文化祭実行委員会 <次年度方針> 継続	
運営企画 (企画方法や内容等)	B	<方法> 島田市及び島田市民文化祭実行委員会にて、前年度の参加人数を鑑み企画。	
		<工夫した点> 展示期間に併せてロビーコンサート(ピアノ自由演奏)を開催。 <次年度方針> 前年度の市民文化祭出展者、出演者、観客数の合計人数(5,118人)を上回る。	
マーケティング (事業の周知方法や 関係者等への関わり。 SNSの活用や それに対する反応等。)	B	<方法> SNS・広報誌・FM島田	
		<工夫した点> 合唱やダンスでの参加者を募り、若年層も参加しやすい内容とした。 <次年度方針> 参加が少ない若年層について、公式LINEやInstagramの活用など、効果的な周知方法を模索する。	

【資料 2 -2】

事業評価シート(案)

(記載例)

事業名	諏訪原城応援隊の結成・活動		
島田市文化芸術推進計画における位置付(施策の柱)		担当課	博物館課
継続年数(回数)	3	事業費(R3決算額)	2,046,864
目的	著名人に諏訪原城応援隊に就任してもらい、諏訪原城址の魅力をPRする。		
内容(詳細)	令和2年度に落語家春風亭昇太氏ら3名を諏訪原城応援隊に任命。応援隊が諏訪原城をガイドするイベントを実施するほか、応援隊の日ごろの活動の中で諏訪原城をPRしてもらう。		
評価内容			
運営組織 (主催・共催・ 関係団体等)	A	<p><組織概要> 落語家春風亭昇太氏、日本城郭協会理事加藤理文氏、フリーアナウンサー片川乃里子氏</p> <p><次年度方針> 継続</p>	
運営企画 (次年度目標に対しての 企画方法や内容)	A	<p><方法></p> <p>(1) ガイドツアーの実施</p> <p>(2) クラウドファンディング(CF)への協力依頼</p> <p><工夫した点> (1) 2年目はガイドツアーを有料又は、CFへの協力者が参加できることとした。</p> <p>(2) 昇太氏にCFの返礼品(御城印)の文字を依頼した。</p> <p><次年度方針></p> <p>令和5年は諏訪原城築城450周年記念となる年であるため、狼煙を実際にイベント内で上げる等、例年とは異なる内容とする。</p>	
マーケティング (事業の周知方法や 関係者等への関わり。 SNSのリツイートや いいねの件数。)	A	<p><方法> 諏訪原城公式Instagram、広報紙、市ホームページ、市公式SNS、プレスリリース、ラジオ出演等。応援隊自身による発信。</p> <p><工夫した点> 著名人による発信は大きな影響力がある。R3はCFと連動させることにより話題性が増し、CFサイトを経て公式サイトへのアクセスも増加した。</p> <p><次年度方針></p> <p>来年度は築城450周年記念の年であるため、文字媒体だけではなく、テレビの取材も受け付けていきたい。</p>	

【資料 2 -2】

事業評価シート(案)

(記載例)

事業名	和菓子バル		
島田市文化芸術推進計画における位置付(施策の柱)		担当課	博物館課
継続年数(回数)	3	事業費(R3決算額)	1,375,691円
目的	川越し街道の認知度向上。街道の賑わい創出。他の観光事業等との連動。		
内容(詳細)	川越し街道の歴史と風情を活かし、番宿や街道を活用した和文化のイベントを行う。		
評価内容			
運営組織 (主催・共催・ 関係団体等)	B	<p><組織概要> 高校生、大学生、島田きものさんぽの会、商工会議所、観光協会、JR東海等と連携</p> <p><次年度方針> 将来的には、行政主導ではなく、民間主催となるような仕組みづくりを行う。</p>	
運営企画 (企画方法や内容等)	B	<p><方法> 和菓子販売を軸に、静岡文芸大学生の考案したイベントや、着物で川越し街道を歩くイベント、お囃子の演奏などを実施した。</p> <p><工夫した点> 和菓子販売以外はそれぞれの団体が主催した。また、JR東海のさわやかウォーキングのコースに設定し、市外からも誘客した。</p> <p><次年度方針> 小ぶりでもいいので同様のイベントやマルシェなどを数多く行い、民間団体に経験値を積ませ、活用による賑わいの雰囲気醸成していく。</p>	
マーケティング (事業の周知方法や 関係者等への関わり。 SNSの活用や それに対する反応等。)	B	<p><方法> (1) 静岡文芸大学のゼミと連携し、チラシ・ポスターデザインやインスタグラムの発信を依頼 (2) JR東海のさわやかウォーキングのコースとして周知</p> <p><工夫した点> 他事業者、他団体の強みを活用し、市の弱みを補うとともに、相手側にメリットを与えるよう、Win-Winの状況の構築。これにより上記、(1) (2) が可能となった。</p> <p><次年度方針></p>	

【資料 2 -2】

事業評価シート(案)

(記載例)

事業名	アートによる地域づくり推進事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付(施策の柱)	9	担当課	文化振興課
継続年数(回数)	9年	事業費(R3決算額)	720,000円
目的	アーティスト・イン・レジデンスを通じた地域の魅力や独自性を発信する取り組みを支援する。		
内容(詳細)	(1)「ささま国際陶芸祭」主催団体への補助金交付 (2)「UNMANNED無人駅の芸術祭」主催団体への補助金交付		
評価内容			
運営組織 (主催・共催・ 関係団体等)	B	<組織概要> (1) ささま国際陶芸祭実行委員会 (2) 特定非営利活動法人クロスメディアしまだ <次年度方針> 継続	
運営企画 (企画方法や内容等)	B	<方法> 団体の活動に対し、広報や補助金の面で支援を行う。 <工夫した点> 団体の自主性を妨げないよう、側面支援を行う。 <次年度方針> 団体と連携し、必要な支援を行う。	
マーケティング (事業の周知方法や 関係者等への関わり。 SNSの活用や それに対する反応等。)	B	<方法> 広報紙、ホームページ <工夫した点> 令和2年度に開設した課のYouTubeチャンネルに動画を掲載した。 <次年度方針> 団体と連携し、必要な支援を行う。	